



# 首都圏における電力供給のリアル

～電気を「つくる」地域と「つかう」地域のより良い関係を考える～

本プログラムでは、日本のエネルギーを取り巻く現状や電源立地地域（＝発電所が所在し電気を「つくる」地域）の実情を講義で学ぶとともに、JERA川崎火力発電所（神奈川県川崎市）と柏崎刈羽原子力発電所（新潟県柏崎市・刈羽村）でフィールドワークを行い、電気事業の現場実情や課題を把握します。電気を「つくる」地域とそれを「つかう」地域とでは、それぞれのメリット／リスク等の観点から様々な課題が考えられます。プログラムの結びでは、講義やフィールドワークを通じて得た知識も参考に、学生の皆さんの視点から、それらの課題の解決に向けて、「電源立地地域と首都圏とがより良い関係を築くにはどうするべきか」を考え、提案していただきます。



## 概要

### ▼対象・定員

法政大学に所属する学部生・大学院生 ※通信教育課程・特別学生を除く

定員 20名 (ただし、最小催行人数10名)

### ▼スケジュール・内容

※下記日程の他、各グループで予定を調整のうえ、発表準備等を行っていただきます

- ① 2/27(金)13:00～15:40  
オリエンテーション／日本のエネルギー事情を知る（講義） @法政大学
- ② 3/4(水) 9:45～13:00  
フィールドワーク① @JERA川崎火力発電所 (JR川崎駅集合・解散)
- ③ 3/5(木) 13:00～16:40  
原子力発電所の安全対策／電源立地地域と首都圏の相互理解に向けて（講義）@法政大学
- ④ 3/9(月) 9:00～21:00  
フィールドワーク② @柏崎刈羽原子力発電所 (JR東京駅集合・解散)
- ⑤ 3/12(木)13:00～16:00  
グループ中間発表／最終発表に向けたグループ準備 @法政大学
- ⑥ 3/18(水)13:00～16:00  
最終発表 @法政大学

### ▶申込はこちらから

下記URLまたは右記の二次元コードから申込フォームにアクセスしてください  
(申込フォームURL) <https://forms.gle/xexzh4a9mrpUCx2e7>

